

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

<p>事業番号 D-14-1 ◆D-14-1-1 事業名 造成宅地滑動崩落緊急対策事業 集水井等設置用地購入事業</p>
<p>事業費 総額（執行額）：85,584,980円（国費：64,338,000円） （内訳 D-14-1 82,580,500円（国費：61,935,000円） （ ◆D-14-1-1 3,004,480円（国費：2,403,000円）</p>
<p>事業期間 平成24年度～平成25年度</p>
<p>事業目的・事業地区 東日本大震災で滑動崩落が発生した造成宅地において災害対策を推進することにより、国道113号をはじめとした公共施設への被害発生を防止するとともに、災害の再発防止を図る。（事業地区：虎子沢山地区・グリーンタウン白石）</p>
<p>事業結果 滑動崩落を防止するため、抑止杭工（19本）、集水井工（2基）、地表面排水路工（7m）を施工し宅地地盤の安定を図った。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>集水井全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>抑止杭全景</p> </div> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>横ボーリングによる集水管</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>抑止杭の施工状況</p> </div> </div>
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該地区はため池・沢等を造成した谷埋め盛土による造成宅地であり、地下水位が高いため、横ボーリング等による地下水の排除を行うこと及び抑止杭を施工することで地盤の安定を図った。このことから市民の安全・安心な生活基盤を確保できたもの</p>

と評価できる。また、国道などをはじめとした公共施設への被害を防止することができた。

② コストに関する調査・分析・評価

造成宅地滑動崩落緊急対策事業については、入札により業者が選定されており、資材や労務単価が上昇する厳しい状況下にあっても、経済性が確保された事業執行となっており、事業費は適切なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・ 想定した事業期間

測量設計発注・完了 平成 24 年 7 月～平成 24 年 12 月

本工事発注・工事着手 平成 25 年 3 月

工事完成 平成 26 年 3 月

・ 実際に事業に有した事業期間

測量設計発注・完了 平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月

本工事発注・工事着手 平成 25 年 3 月

工事完成 平成 26 年 2 月

・ 造成宅地の滑動崩落の災害対策を推進するため、平成 25 年度内の完成を目標とし、設計が完了次第工事を発注する予定となっていた。

・ 設計に要した期間は、当初想定した業務期間よりも日数を要しており、事業工程に遅れが生じたが、工事発注に係る準備期間が短縮されたことにより、予定していた時期に工事が発注された。また、工事着手後においては労務者及び資機材の調達に日数を要したものの予定通り工事が進められ、完成されたことにより、造成宅地の災害対策や公共施設等への被害発生防止、災害の再発防止が図られた。

・ 上記の通り、事業スケジュールに遅れが生じた時点において適切なフォローアップが行われており、想定した事業期間内に災害対策が完了することができたことから、事業手法は適切なものとする。

事業担当部局

白石市建設産業部都市整備課 電話番号：0224-22-1325